

## 愛媛県肱川で得られたタネハゼ

辻 幸一<sup>1</sup>・松田久司<sup>2</sup><sup>1</sup> 愛媛県大洲市<sup>2</sup> NPO 法人 かわうそ復活プロジェクト写真1 *Callogobius tanegasimae* タネハゼ (TKPM-P 27267)

## 種の記録

Gobiidae ハゼ科

*Callogobius tanegasimae* (Snyder, 1908)

タネハゼ(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P)27267.

全長 50.0mm. 標準体長 35.5mm. 採集年月日:2023年7月18日. 採集場所:愛媛県大洲市長浜町下須戒 肱川大和橋下流(33.3544 N, 132.2946E). 採集方法:タモ網.

## 種の特徴

体は細長く、頭部に縦横に走る多数の皮褶がある。胸鰭と尾鰭が長く、尾鰭の後縁が尖る。第1背鰭6棘, 第2背鰭1棘15軟条, 臀鰭1棘12軟条。

## 備考

標本個体の上記の特徴は明仁ほか(2013)および瀬能ほか(2021)のタネハゼの特徴に一致したため、本種と同定した。本種は黒潮の影響を受ける沿岸に広く分布するが、瀬戸内海からの標本による記録は、大阪湾の泉州地域沿岸および小豆島からのみである(波戸岡・花崎, 2017;井藤, 2021;きしわだ自然資料 サイエンスミュージアムネット <https://science-net.kahaku.go.jp/>:2024年11月1日参照)。本報告は瀬戸内海西部の伊予灘に流入する河川からの標本に基づく初めての記録となる。本種は愛媛県内では宇和海沿岸において、宇和島市の来村川から1998年に初めて記録され(水野, 2000), 以降確認地点

が増えており(辻, 2015;辻・松田, 2016), 瀬戸内海沿岸においても近年分布が拡大している可能性がある。

## 引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田裕二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347-1608, 2109-2211.
- 波戸岡清峰・花崎勝司. 2017. 瀬戸内海産魚類標本目録. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録, 48:1-204.
- 井藤大樹. 2021. 香川県小豆島から得られたタネハゼ(スズキ目:ハゼ科). 四国自然史科学研究, (14):7-11.
- 水野晃秀. 2000. 愛媛県来村川の魚類相II. 南予生物, 11:33-41.
- 瀬能 宏・鈴木寿之・渋川浩一・矢野維幾. 2021. 新版日本のハゼ. 平凡社, 東京. 588pp.
- 辻 幸一. 2015. 愛媛県岩松川水系の魚類相. 徳島県立博物館研究報告, 25:1-25.
- 辻 幸一・松田久司. 2016. 愛媛県八幡浜市の淡水魚類. 南予生物, 18:1-25.

(2024年11月1日受付, 2024年11月3日公開)

連絡先:辻 幸一(e-mail: [tuzihaze2@gmail.com](mailto:tuzihaze2@gmail.com))(Kouichi Tsuji and Hisashi Matsuda. 2024. Record of *Callogobius tanegasimae* (Gobiidae) from Hijikawa River, Ehime Prefecture. NS fieldnote, 24014)